



こころつなぐVOL.23 介護付有料老人ホーム もみの樹 ネオ・サミット 情報誌 通巻23号 2023年3月発行

「こころつなぐ」

人と地域、そして心豊かな暮らしへの架け橋を築く
大和ハウスライフサポート。
そこには、ご入居者やそのご家族の
さまざまな夢や願いの実現をお手伝いしたいとの
想いが込められています。



0120-07-4165

受付時間:午前9時～午後5時



介護付有料老人ホーム
もみの樹・練馬
東京都練馬区平和台2-50-1



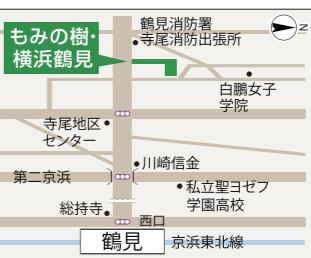
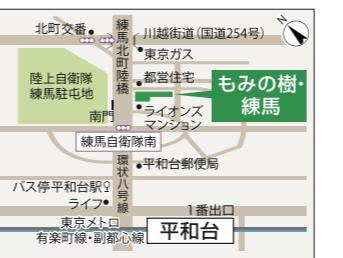
介護付有料老人ホーム
もみの樹・杉並
東京都杉並区和泉3-52-8



介護付有料老人ホーム
もみの樹・横浜鶴見
神奈川県横浜市鶴見区北寺尾4-3-1



介護付有料老人ホーム
もみの樹・渋谷本町
東京都渋谷区本町5-25-1



介護付有料老人ホーム・住宅型有料老人ホーム
ネオ・サミット茅ヶ崎
静岡県茅ヶ崎市東海岸南4-3-3



介護付有料老人ホーム
ネオ・サミット湯河原
静岡県熱海市泉17-2



心と心の交流 「女子美生がおくるアートの風展」



女子美術大学付属高等学校・中学校



おこなっています。私ごとではありますが、一昔前に次女が中学校から大変お世話になりました。当時は学校を含め、ギャラリーや美術館など、学生の作品を披露できる場所が多く存在しました。中学生・高校生たちが精魂こめて制作した作品に感動する鑑賞者のご様子を目の当たりにし、親である私自身も嬉しい気持ちになつたことを昨日のことのように覚えています。

コロナ禍以降、「人と人との心の交流」を取り戻したいという気持ちが日々強くなる中、研修等で携わらせていただいている杉並区の介護付有料老人ホーム「もみの樹・杉並」で、「女子美生の展示会」ができるないものかと提案させていただきました。お庭からも出入りできる1階の「リビングルーム」（談話コーナー）が会場にぴったりだと思ったのです。

大和ハウスライフサポート株式会社の東社長からもご賛同いただき、女子美術大学付属高等学校・中学校の美術科主任の遠山先生、石川校長先生にこの経緯をお話しすると、すぐにご快諾いただけ、「女子美生がおくるアートの風 展」を実現できました。

本展は超過密スケジュールにも関わらず、先生や施設スタッフの方々が協力してくださいましたからこそ実現できました。開催期間中は多数の方にご来館いただいた



少子高齢化が進む昨今の日本では、多世代間の交流の場がますます減少しています。

技能実習生で話題に上がるベトナム人の平均年齢が31歳であるのに對し、日本人の平均年齢は世界第2位の48.6歳なのです。昨年、日本人の100歳以上の人口が9万人を超えて、出生率は過去最低の77万人台でした。日本では今、世界で誰も見たこともない未知の光景が繰り広げられています。

そんな中、新型コロナウイルスが世界に蔓延したこと、私たちの価値観はガラリと変わりました。多くの方が「人と接觸しない」テクノロジーの進化に対して、寂しさを感じながらも素直に受け入れてきたのではないでしょうか。たとえば、オンラインでの交流、セルフレジ、電子マネー等：コロナ禍をきっかけに普及してきた便利なテクノロジーは、人の温もりを感じられない無機質なものばかりです。これらの利便性

(有)羽吹デザイン事務所
介護事業部アモールファティ代表
アモールファティスクール長(2021年8月～)
介護福祉士／介護支援専門員／介護技術指導員／日本語教師／
社会科教員／介護職員実務者教員／社会福祉主任用
著書…「親をキレイにならない為の家族介護のスマ」(2020年8月)

にあやかりつつも、「人の心」を感じられるものに私自身が飢えていたように思います。同様の感覚を抱いている方は、きっといるはず。

そこで、「人の心」を感じられるような多世代間の交流を、地域というコミュニティの中で実現できないかと考えました。

この度、交流の場となつた杉並区は文化芸術活動の振興を進めている街です。創立から123年の間、多くの芸術家を輩出してきた「女子美術大学」が所在している街でもあります。女子美術大学は中学校から「芸術に特化した授業」を多く取り入れ、芸術を通じた地域活動も意欲的に



とうかがっています。地域の皆様をはじめ、女子美生やご家族、「もみの樹・杉並」のご入居者やご家族から、作品を通して「心と心の交流」ができたとの感想もいただきました。

学生たちには、ご入居者の方々に自分たちの作品で喜んで欲しいという気持ちが芽生えたかもしれません。また、ご入居者や地域の皆様は、中高校生の子どもたちが作品に命を吹き込む姿に感動され、元気になられたのではないかと思つてしています。

「人と人との交流」は言葉だけではありません。今回、アートを通して多世代間の交流ができたことを大変嬉しく思つております。

ご協力いただいた皆様に、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。



羽吹 さゆり

もみの樹・杉並

日常風景を切り取って：

多彩なイベントを取り入れ 張りのある生活を叶えます

コロナ禍に加え、インフルエンザやノロウイルスといった他の感染症も猛威を振るう冬。福祉施設全般において緊張感が増す時期でもあります。もみの樹・杉並ではご入居者の皆様にお楽しみいただけるイベントを開催しています。

初釜

もみの樹・杉並にはお茶を点てることができるスタッフがおり、定期的にお茶会を開催しています。今年最初のお茶会「初釜」を1月12日(木)に開催しました。弊社代表取締役から年頭のごあいさつとして、実りある一年を過ごしていただけるよう、「丸となつてケアにあたる旨をお伝えしました。



初詣

もみの樹・杉並から車で5分とかからない場所に「東京のへそ」と呼ばれる大宮八幡宮があります。コロナ禍になり中止していましたが、今年は3年ぶりの初詣に出かけました。事前に人出の少ない日時を調べ、予定を組みました。ご入居者の皆様もスタッフも一緒に参りし、1年の幸福を祈願しました。



回転寿司フェア

1月22日(日)には2年ぶりとなる「回転寿司フェア」を開催しました。厨房委託をしているシダックスフーズ(株)様に回転レールをご用意いただき、回転寿司を再現しました。



少しずつですが、コロナ禍前のように、ご入居者の皆様に張りのある毎日をお過ごしいただけるように努めています。皆様、お店のような雰囲気を楽しんでいました。

もみの樹・渋谷本町

楽しい余暇時間で 心潤う豊かな暮らしを

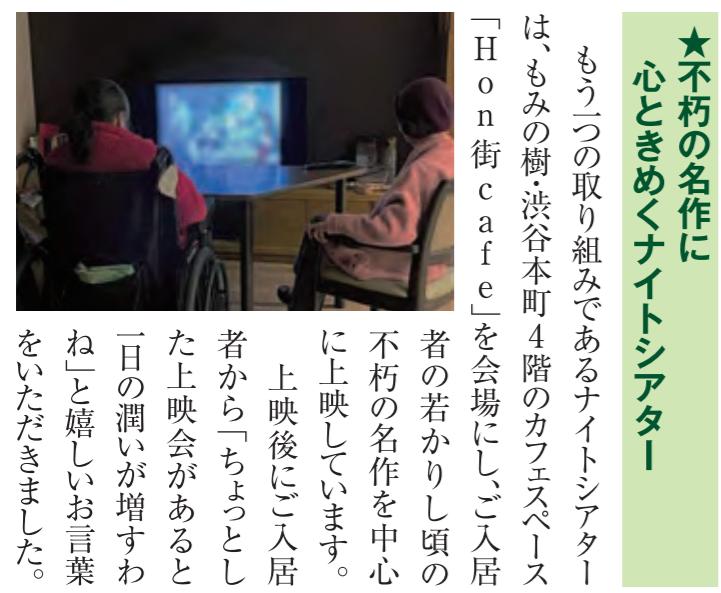
もみの樹・渋谷本町では夜の余暇時間を楽しんでいただけるよう、ナイトバーとナイトシアターを開催しています。始めたきっかけは、スタッフの「ご自宅で楽しんでいたことが入居してできなくなっているのではないか」という声でした。



★ご入居者のご要望から ナイトバーが誕生

当初、みんなで何をしたら良いか考えていたところ、ご入居者のお一人から「晩酌をしたい」とのご要望がありました。もみの樹・渋谷本町のダイニングからは新宿副都心の夜景を望めることから、「夜景も楽しんでいただきたい」と話が膨らみ、ナイトバー開催に至りました。

オープン当初から定期開催していましたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止していました。昨今の感染症対策の緩和の流れもあり、この度、満を持しての再開となりました。



★不朽の名作に 心ときめくナイトシアター

もう一つの取り組みであるナイトシアターは、もみの樹・渋谷本町4階のカフェスペース「Hon街cafe」を会場にし、ご入居者の若かりし頃の不朽の名作を中心にお映していきます。上映後にご入居者から「ちょっととした上映会があると一日の潤いが増すわね」と嬉しいお言葉をいただきました。



春といえば桜の季節ですが、当館の敷地には何本もの桜の樹が植えられています。

37年経った今は大木になり、枝が美しく伸びています。

眼下を流れる



千歳川沿いに並ぶ壮麗な桜

桜に負けず劣らず華やかな笑顔の花を咲かせています。

千歳川に沿うように植えた桜は、当館のシンボルとなつております。蕾が少しづつ膨らみ、その蕾の粒が分かれ、色が茶色から薄くなりピンクに染まり、満開になるまでの過程を楽しめます。

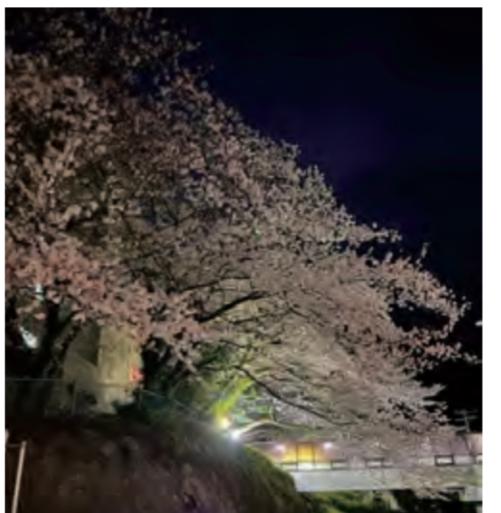
サービス棟のロビーで、桜吹雪の中を歩いているようです。桜の花の高さと同じ階層を歩けば、まるで桜吹雪の中を歩いているようになります。桜の花が咲くと同時に、桜吹雪の中を歩くことができます。桜吹雪の中を歩くことができるよう、様々な場所に桜を植えていました。桜吹雪の中を歩くことができるよう、様々な場所に桜を植えていました。

当館の正面だけでなく、サービス棟の各所や、居住棟の廊下からもご覧いただけます。

桜吹雪の中を歩くことができるようになります。桜吹雪の中を歩くことができるようになります。桜吹雪の中を歩くことができるようになります。桜吹雪の中を歩くことができるようになります。

「桜を愛する会」も人気イベントのひとつです。お花見をしながら、お抹茶やおまんじゅうを召し上がるご入居者の皆様は、魅了されています。

また、開花にあわせて当館で行っている「桜を愛する会」も人気イベントのひとつです。お花見をしながら、お抹茶やおまんじゅうを召し上がるご入居者の皆様は、魅了されています。



ライトアップされた夜桜

桜に負けず劣らず華やかな笑顔の花を咲かせています。

桜並木は千歳川の上流にも続いており、散策すると豊かな自然に五感が刺激されます。湯河原エリアにはいくつものハイキングコースがあり、春は山桜が彩りを添え、海と山と歴史を感じられるコース、四季の草花に出会う気軽なコース、富士山の見える十国峠山頂を巡る健脚向けのコース、相模湾を一望できるコースなど様々です。

春だけでなく、緑生い茂る夏、紅葉の映える秋、落ち着いた風が吹く冬、湯河原では四季折々の自然を感じられます。湯けむりやみかんの香り、日当たりの良い斜面にみかん畑が広がるのどかな景色、どれも私たちの心を柔らかくしてくれます。

当館の敷地内でも、ご入居者の生活に彩りを添えられるよう、季節の草花を育てていますので、ぜひ一度お出かけください。

湯河原温泉公式観光サイト/ハイキング
<https://www.yugawara.or.jp/hiking/>

もみの樹・横浜鶴見

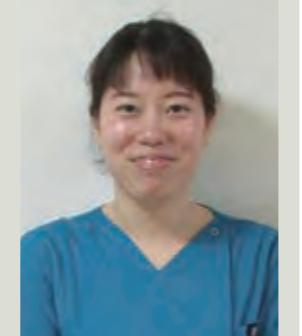
新しい仲間と一緒に もっと楽しく快適に

今回はもみの樹・横浜鶴見に入社したた頼れる新スタッフをご紹介します。

★理学療法士が加わり リハビリ体制が強化

以前から常勤の作業療法士と週2日の非常勤の言語聴覚士による、個別・集団リハビリをご提供していましたが、新たに理学療法士を加え、リハビリ体制を強化しました。

理学療法士



理学療法士
近野 萌実
(こんの もえみ)

病院にて発症直後の方や退院を目指している方を中心に、リハビリを行つてきました。

▼入社した理由

デイサービスに関わりがあつたため、高齢者が生活されている場でのリハビリに興味を持ちました。複数の介護施設を訪問し、温かい雰囲気に魅力を感じたので、もみの樹に入社することに決めました。

介護予防のリハビリを学び、ご入居者により楽しく元気にお過ごしいただけるようサポートしていきたいです。

▼今後やりたいこと

理学療法士は、基本動作能力の回復や維持、悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法を用いて支援するリハビリテーションの専門職です。ご入居者にリハビリを「つらい」「面倒くさい」ではなく「楽しい」「明

日もやりたい」と思つていただけるよう、3職種が力を合わせて取り組んでいきます。

★癒しのペット型ロボットも仲間入り

もみの樹では会社として、介護記録システムや服薬管理システム、睡眠状態の見える化ができる眠りSCAN、ペット型ロボットなどを導入し、IT・ICT化を進めています。

もみの樹・横浜鶴見には、昨年11月に入社したペット型ロボット「LAVOT（ラボット）」の「あづき君」に続き、妹の「きなちゃん」もやってきました。ご入居者に人気なのはもちろん、スタッフの癒し的存在にもなっています。ぜひ、2人を抱っこしてお越しください。



あづき君(兄)
特徴:元気、活発、好奇心旺盛

きなちゃん(妹)
特徴:甘えん坊、お話好き、色白、瞳の模様が変化する

ネオ・サミット茅ヶ崎は開設10周年を迎えました

ネオ・サミット茅ヶ崎は2022年12月1日をもって、開設10周年を迎えました。これもひとえに皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝しております。

10周年を祝して住宅棟にて記念式典を行いました（介護棟の方にはオンラインでご参加いただきました）。式典に先立ち、弊社社長の東よりご来場のご入居者お一人おひとりに記念品の贈呈を行いました。式典では、開設当初よりご入居いただいているA様から乾杯のあいさつを、ご来賓の方からお祝いの言葉を頂戴しました。続いて、記念イベントとして「呼華歌劇団KOHANA様による昭和歌謡やシャンソン、日本舞踊などのバラエティに富んだ華やかなショーをお楽しみいただきました。イベント後に行われた、演者の方々との



写真撮影も皆様とても喜ばれていました。

住宅棟でのショー終了後、介護棟でもフロアごとに歌や踊りを披露いただき、聞き慣れた曲が流れるごとに目を輝かせながら歌を口ずさむご入居者もいらっしゃいました。

ショーアフターの写真撮影も、素敵なお寿司、夕食の天ぷらも大好評でした。

また、お祝いの食事としてご用意した、昼食のお寿司、夕食の天ぷらも



写真撮影も皆様とても喜ばれていました。

引き続き20周年に向けて、皆様のご支援のもと、より楽しく安心して生活できる施設作りを目指し、職員一同全力で努めてまいります。



美食会や日帰りバス旅行などの外出イベントを再開しました

この数年間、長引く新型コロナウイルスの影響で、中止にしたり規模を縮小していったイベントですが、昨年から新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、安全に配慮しながら少しづつ再開しています。ここからはネオ・サミット茅ヶ崎（住宅型）の外出イベントをご紹介します。



お昼は湘南唯一の蔵元である熊澤酒造が運営する和食レストラン「蔵元料理天青」に行きました。大正時代の酒蔵を改装した落ち着いた雰囲気の店内で、季節の食材を使ったおいしい料理をご満喫いたしました。

今後も、和食や洋食などの様々な料理や、季節にちなんだ場所などを考慮しながら、ご入居者の生活を彩る楽しい企画を立てていきたいと思います。

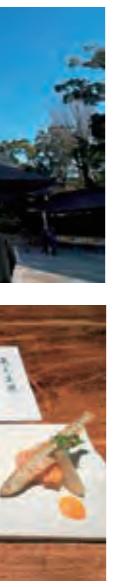
初詣と蔵元直営店の和食ランチ

2023年1月20日(金)

当館では月に一度、シャトルバスにて外食を楽しむ「美食会」を開催しています。今年初めの睦月美食会は、初詣も兼ねて相模國「之宮（寒川神社）」に出向きました。

◆睦月美食会

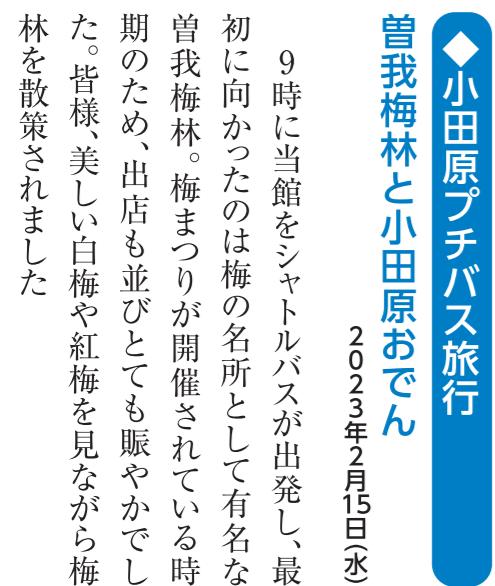
2023年1月20日(金)



曾我梅林と小田原おでん

2023年2月15日(水)

9時に当館をシャトルバスが出発し、最初に向かったのは梅の名所として有名な曾我梅林。梅まつりが開催されている時期のため、お店も並びとても賑やかでした。皆様、美しい白梅や紅梅を見ながら梅林を散策されました



2023年2月15日(水)



昨年12月に10周年を迎えたネオ・サミット茅ヶ崎で働くスタッフに、この10年間を振り返りつつ、今後の意気込みをうかがいました。



印象的な出来事やご入居者の言葉は?

[芳賀] ネオ・サミット茅ヶ崎は2012年12月に住宅棟をオープンしました。最初の数年は入居率の伸びが思わしくなかったものの、徐々にご入居者が増え、最近は満室に近い状態が続いています。大和ハウスが経営している安心感や、ネオ・サミット湯河原で長年間培ってきた様々なノウハウをご評価いただけたのだと思います。

[金子] 家族みたいな関係も当館の魅力ですよね。私はご入居者が外出からお戻りの際は「お帰りなさい」とお迎えしています。とても喜んでもらえています。

[安部] 景色も自慢ですね。よく耳にする「富士山や海がきれいね」はネオ・サミット茅ヶ崎ならでは。去年4年ぶりに見ることができた屋上からの「サンバーチチがさき花火大会」も大好評でした。

[小熊] 10年経つてもご入居者やご見学者に、館内の綺麗さを誉めていただけるのが嬉しいです。仕事終わりにご入居者からいただく「お疲れ様」も元気が出るしありがたいです。

[池田] 私は施設管理を任せられているので、ご意見

見やご要望を受けたら『即行動する』をモットーに、状況確認と作業を行い、ご入居者との信頼関係を築いてきました。

[道祖] イベントの企画・実行を通して、たくさんのお「ありがとうございます」をいただきましたね。その度に「もっと楽しんでいただきたい」とモチベーションが上がっています。

[香西] 新型コロナウイルス感染対策のため、今はパーテーション越しの面会をお願いしています。それでも「顔を見られて嬉しい、ありがとうございます」と言ってもらえるので面会の大切さを感じますね。

[角田館長] 私は自立型の住宅棟から介護付きのケア棟への住み替えの特徴や、スタッフの人柄、接遇などへの高い評価を誇りに思っています。また、当館のお看取り対応を「最後までこの施設でお世話になれて良かった」とご家族に喜んでいただけることも、スタッフの励みになっています。

[金子] 私は年齢や病気などにより低下するADL（日常生活動作）に合わせ、必要なケアを判断し、おひとりが安全に暮らせるお手伝いを続けたいですね。

これから取り組みたいことは?

[芳賀] 会社全体としてIT、ICT化を進めているので、現場のスタッフも使いこなせるよう勉強し、今後も選ばれる施設として成長していくかなればならないと考えています。

[金子] 私は年齢や病気などにより低下するADL（日常生活動作）に合わせ、必要なケアを判断し、おひとりが安全に暮らせるお手伝いを続けたいですね。

[角田館長] 今後の取り組みとして、ケア棟1階のデイルームを拡張し、お客様へのおもてなしスペースにする計画を進めています。すでにリニューアルした場所もあります。住宅棟では、ロビーの水槽設置や、ラウンジのライブラリー設置、リハビリ機器の導入、ウッドデッキにカフェスペースを設け、ダイニングにコーヒーサーバーを用意しました。これからも人々が集いくつろげる、ネオ・サミット茅ヶ崎らしい快適な空間を増やしていきます。



入居相談室
芳賀 克徳



施設管理課
池田 守人



ケアマネジャー
香西 泰重



介護主任
小熊 尚樹



サービス提供責任者
安部 真弓



フロント
金子 治江



総務課主任
道祖 八千代



館長
角田 健太郎

もみの樹 4館合同 「介護スタッフ座談会」

～事例報告会②～

前号に続き、介護スタッフが定期的に開いている事例報告会の発表内容と、認知症専門医の繁田先生によるアドバイスをご紹介します。

お一人おひとりの課題に適したケア方法を見出し実践しています

心情を理解し、安心できる居場所作りを。

事例報告「もみの樹・横浜鶴見」原田大輝

目標 手持ち無沙汰によって生まれる不安感を取り除く。

■概要
ご入居者：Y様(55歳)要介護4
身体状態：車椅子利用。めまい・立位時の不快感。
性格：非常に温厚。恥ずかしがり屋。
趣味：塗り絵(若い頃は縄跳びやおはじき)。
改善したい症状：多動や不安発言の繰り返し。
目が届かない場所への自走。

Y様は車椅子を利用されており、転倒。ずり落ちの危険、めまい・立位時の不快感があり、見守りが必要な方です。「どうしたらいいの?」とスタッフに聞いたり、車椅子でどこかに行つてしまふことも度々ありました。

取り組み内容

1クール目は、暇な時間を埋めるように、洗濯物畳みや塗り絵をしてもらいました。集中力が切れるとき立たれる様子が見られたり、落ち着かない状態になりました。

1クール目は、各スタッフが手を振って、1いさつしたり、すれ違う際にそっと触れていました。その結果、Y様の中に安心感や親近感が芽生えたようで、落ち着いて過ごされる時間が増えました。

信頼関係を深めて、心穏やかにお過ごしいただく。

事例報告「もみの樹・渋谷本町」真壁英次

目標 居場所を確保し、穏やかにお過ごしいただく。

の個別ケアも取り入れました。

2クール目には、スタッフと関わりやすい3階の居室に移っていました。お食事の拒否回数と夜間起きる回数が減つていたため、1クール目の取り組みを続けました。

現在は、3クール目で、2クール目までの取り組みに加え、「外食したい」「家族に会いたい」というY様の希望を叶えながら、心地よい環境と時間の提供に努めています。

M様はしっかり歩かれますが、落ち着きがなくケアの妨げになることがあります。M様がお住まいの1階は自立度の高い方が中心で、スタッフの往来が少ないため、M様は他人に会えないこと困ったようにウロウロされます。一方、人が集まる場では「お年寄りが苦手なの」と拒まれ、入浴も拒否されます。ダイニングでのお食事も「この方たちとは食べたくないわ」と拒否されることはあります。夜間に起き出し、他の居室に入ってしまうことも課題でした。

取り組み内容

1クール目は、M様と関わる時間を増やし、アイコンタクトや体に触れてコミュニケーションを図りました。拒否に対しても無理強いては次約束につなげました。共用部で過ごす時間を増やし、散歩など

繁田先生
からの
アドバイス

人は身体機能の衰えを感じし老いを受け入れていいと思いますが、M様はまだ受け入れられていないようです。

事例を記録する際は、「美味しい」というM様の希望を叶えながら、心地よい環境と時間の提供に努めています。

ご入居者の生活歴シートに「苦労したこと」も加えるのも良いですね。乗り越えた苦労はご本人にとっての誇りがあるので、より深く人となりを把握できると思います。



ネオ・サミット茅ヶ崎
小熊 尚樹
(介護主任)



もみの樹・杉並
雨宮 彩乃
(介護スタッフ)

D'sケアマスター紹介

D'sケアマスターは事例報告会の内容を各館のスタッフに共有し、ケアの向上を図っています。



座談会風景

繁田先生
からの
アドバイス

Y様は作業をしても「私なんて大したことはできぬ」と満足感が得られずイライラされるのかもしれません。ですから「どうしてがんばれたと思えますか」と、Y様の気持ちを探り理解することできます。「Y様の思いは分かっているよ」と伝えてあげれば、Y様は安心感を得られるのではないか。Y様に共感できる寄り添い方を考えみてください。

認知症の方に安心して生活していただくには、思い出の写真、愛着のある家具、そして私たち職員など、環境が大切になります。関わり方次第では、認知症の症状を引き起こしかねません。D'sケアの基本理念に則り、笑顔でご入居者の安心した生活に関わっていきたいです。

